

2017年度
(平成29)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
— 活動報告書 —
REPORT

2017(平成29)年度 認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書

発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

発行日：2018年5月20日

表紙写真：小川重雄

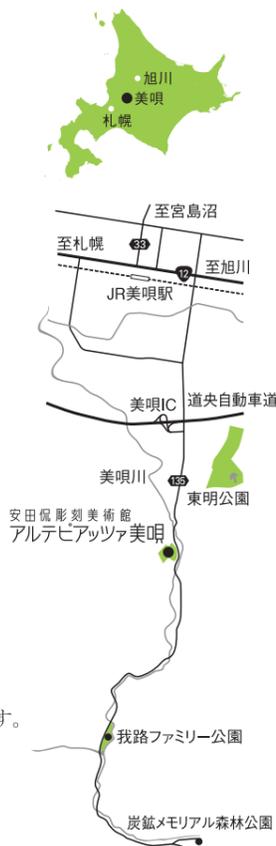
● 開館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いします)

● 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月3日

● 交通
電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● 定時ガイドツアー
アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料
集合：アートのスペース(旧体育館)前
※2018年度は4月28日(土)より11月3日(土)まで。
※天候等により、予告なしに中止する場合があります。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>



認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 18名

監事 2名

スタッフ 常勤6名

沿革	設立総会
平成17(2005)年4月	NPO法人認証
平成17(2005)年8月	指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
平成18(2006)年4月	カフェアルテ、スタジオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
平成19(2007)年4月	第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
平成19(2007)年4月	北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
平成21(2009)年10月	平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
平成22(2010)年1月	アルテ市民ポポロ制度発足
平成22(2010)年4月	北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞
平成25(2013)年2月	認定NPO法人に認定される
平成26(2014)年2月	第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞
平成30(2018)年1月	

炭住街の一角に開設されていた旧美唄市立栄小学校。その閉校跡地に芸術広場の灯がともされてから四半世紀の時がめぐりました。節目の年となった昨年は、多くのご協賛とご協力をいただき、幾つかの記念事業を展開いたしました。そのお心遣いに心より感謝申し上げます。静かに自分と向き合える空間として共感を呼び、新たな時を重ね続けている、このかけがえのない空間。そのバトンを次代につないでいくための挑戦をこれからも重ねていきたいと心新たにしています。

2018年度からは5年間の指定管理者協定を結び、これまでに増して施設や作品の適切な維持管理につとめ、この先も変わらぬ存在としてあり続けるようNPOの取り組みに励んでまいります。皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

認定NPO法人とは？

認定NPO法人制度とは、＜運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する＞として、「認定」を受けたNPO法人を支援する制度です。当法人を含む、認定NPO法人へ寄附をされると税制優遇のメリットがあります。（寄附金、団体会費が税法上の優遇措置の対象になり、アルテ市民ポポロ市民会費は対象になりません）

■認定NPO法人の税制優遇①

個人が認定NPO法人に寄附した場合・・・

→寄附金控除を受けられます。

寄附者が確定申告することによって、税金の還付を受けることができます。

(寄附金額－2,000円) × 50% = 減額

※所得税40%、地方税10%、合計最大50%

■認定NPO法人の税制優遇②

法人が認定NPOに寄附した場合・・・

→損金算入限度額の枠が拡大されます。

■認定NPO法人の税制優遇③

相続人が認定NPOに寄附した場合・・・

→寄附をした相続財産が非課税になります。

寄附でのご支援お待ちしております。いただいた寄附は、安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄の管理運営に使わせていただきます。郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
<small>※通信欄には「寄附」とご記入下さい。</small>	

NEWS

エクセレントNPO大賞「市民賞」受賞！

1月18日、毎日新聞社毎日ホール(東京)で行われた、第5回エクセレントNPO大賞表彰式で「市民賞」を受賞しました。エクセレントNPO大賞は、質の向上をめざし、自己評価を行いながら改善につとめる非営利組織を、社会に「見える化」することを目的に創設されました。「市民賞」は、活動が多くの市民に開かれ、社会課題への理解を促す努力をしているかが審査されました。



今回の受賞は、アルテ市民ポポロの存在が高く評価され、「寄附者やボランティアを資金や役務の単なる提供者としてだけでなく、団体の運営に不可欠な構成員として捉え、積極的に多様な役割を与えている様子が伝わってきた」と講評をいただきました。

受賞に際し、当NPO磯田憲一理事長は「従来のような『支える』側、『支えられる』側という関係性を越えて、自分がそこに存在すること、身を置くことが喜びになる空間を共に守り育てる主体として『アルテ市民』と名づけた。一体となって、このかけがえのない空間を次代につなげていく役割を果たしていきたい」と話しました。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄、基本理念策定

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄の将来へ向け、2016年度より「美術館会議」を開催し、館長や美唄市教育委員会他関係機関、NPO理事・スタッフが参加、必要に応じてアドバイザーを招聘しながら意識共有をはかっています。その中で、将来の美術館の目指すべき姿を言葉にするため、美唄市教育委員会とNPO法人アルテピアッツァびばいが協力し、2017(平成29)年4月に「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 基本理念」をまとめました。

「誰もがこころを広げられる芸術広場」

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄は、今を生きる全ての人が、無心に、自由に、思い思いの時間を過ごすための芸術広場です。炭鉱で栄え、衰退していったこの土地の記憶、人々の思いを、場のエネルギーとして受け止める空間は、過去、現在、未来という時の流れの中で、静かに佇み続けています。そうしたかけがえのない空間となることを願いながら、美唄市と美唄市出身の彫刻家・安田侃によってこの美術館はつくられました。広がる景色の中に置かれた彫刻が、自然と一体となって息づくこの空間は、見る人自身のこころを映し、自分との対話ができる場所です。この空間が、この地に変わりなく在り続けることで、誰もが安心して帰れる「こころのふるさと」として、未来に繋いでいくため、以下の理念を掲げます。

- ・自然と人と芸術の新しいあり方を模索し、提案し続けます。
- ・地域と人、人と人をつなぐ交流の機会を作り、交流の場となります。
- ・地域の、文化、芸術、学術の振興に貢献します。
- ・土地の記憶を受けつぎ、読み解きながら、次の世代へ伝えます。
- ・彫刻家・安田侃の研究を通してその彫刻の精神を理解し、後世に伝えます。

アルテピアッツァ美唄 25周年

1992年、アートスペース(旧体育館)からアルテピアッツァ美唄がスタートし、今なお創り続けられています。多くの人の思いが積み重ねられてきたこの空間を、この先も人々の思いを刻む芸術広場として、未来につないでいこうという気持ちも新たに、25周年の節目に、「安田侃ブロンズ展一時をつなぐ」を開催しました。会期中に安田侃講演会、秋には、「安田侃のまなざし展」、「プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべ」が相次いで開催され、大きな感動を呼びました。

・8月23日(水)～10月6日(金) 安田侃ブロンズ展一時をつなぐ

ギャラリー(木造校舎2階)、アートスペース(旧体育館)、屋外の広場やカフェアルテの中にも、安田侃さんの立ち会い、指示のもとに新たにブロンズ作品が10点置かれました。この期間は、いつもより来場者も多く、少しだけ華やいだ雰囲気ながら、根底に流れる空気はいつもと変わらず、彫刻と自然とが響きあうアルテの空間が、訪れる人々を静かに迎えていました。



25周年を記念した展覧会ということで、北海道内外から「久しぶりにアルテに来ました」という方も多く訪れました。中には「『水の広場』で水遊びしていた孫が、もう大学生なんです。私も年をとりました」と笑いながら話を聞かせてくださる方もいらっしゃいました。会期中、25周年を祝う言葉やアルテを想う言葉がたくさん聞かれ、アルテピアッツァ美唄が多くのの方々の想いによって、守られてきたことを改めて感じました。

【関連企画】

・8月27日(日)安田侃講演会「時をつなぐ」



国内外で行われている展覧会やアートイベントの話、1990年代からイタリアの各地で行われてきた個展でのエピソード、炭鉱のためのモニュメントとして1980年に建立した「炭山の碑」に関わる話まで、時間を遡るように語られました。中でも、「何万年も前の大理石で出来た彫刻に触れることで、時に触れてもらう。彫刻はこの先も何百年とそこにあって、その時代時代に彫刻に触れた人が『時』を感じられたら、彫刻を通して『時をつなぐ』ということになる」という安田侃さんの言葉が印象的でした。

最後には、「アルテピアッツァ美唄が25年続けてこられたことは奇跡のよう。これは支えてくれた皆さんのおかげ。これからもよろしくお願いします」と話し、講演会は閉幕。来場した約300名の方が最後まで聴き入りました。

・9月2日(土)、3日(日) ナイトミュージアム

夜8時まで開館し、屋外彫刻のライトアップを行い、カフェアルテも延長営業しました。スタジオアルテ(体験工房)では、手提げランタンをつくるワークショップに、子どもも大人も楽しく参加し、夕暮れ時には、出来たばかりのランタンを持ってアルテの小道を散策しました。柔らかく灯った灯りが列をなす光景は、夜の美術館に色を添えてくれました。カフェアルテではアルテ特製のキーマカレーや、安田侃さんオススメのワインなどを用意し、店内は終始賑わいをみせていました。ライトアップされた彫刻は、昼間見る時とは表情を変え、堂々と在る姿に新たな一面を見るようでした。

・9月9日(土)、10日(日) 子どものための美術鑑賞「アルテでつくり！きみも彫刻家」

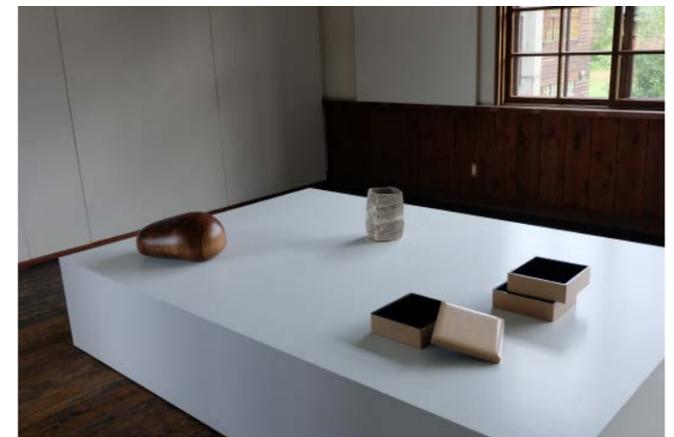
当館で活動くださっている美術鑑賞コミュニケーターさんたちと作り上げたこの企画に参加してくれたのは、美唄市内や札幌近郊から2日間で計16名の子どもたち。アルテピアッツァ美唄の森に落ちている自然のものをみんなで拾い、自分の好きな場所をそれぞれ見つけ、そこで作品づくりをしました。どの作品にも子どもたちの工夫がたくさん詰まっています。一緒に参加くださった親御さんやスタッフも子どもたちと一緒に、楽しいひとときを過ごしました。



・10月7日(土)～10月16日(月) 安田侃のまなざし展

(主催:アルテピアッツァ美唄25周年記念事業実行委員会)

この展覧会は安田侃さんが共鳴した作家の方々とのコラボレーション展でした。「私にとって新しい創造への道と勇気を与えてくれそうで、いまからドキドキしています」- 展覧会が始まる前の安田侃さんの言葉です。染色家・柚木沙弥郎さん、書家・中野北溟さん、陶芸家・吉田喜彦さん、漆芸家・関野晃平さんの作品を、安田侃さんの彫刻の展示空間でもある築約70年の木造校舎に展示、各作品から感じられる、それぞれの表現に対する実直な姿勢が、緊張感のある空間をつくりだし、鑑賞者を引き込んでいました。また、短い会期にもかかわらず、地元の何人もの方が家族や友人と一緒に繰り返し来館されて、この展覧会を周囲の方へ紹介してくださっていました。感動を共有したくなる展覧会がここで開催されたことを実感し、これからの安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄に、明るい予感、明るいエネルギーを蓄えることが出来た展覧会でした。



・10月14日(土)、15日(日) アルテピアッツァ美唄25周年記念コンサート プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべinアルテピアッツァ美唄 (主催:プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべinアルテピアッツァ美唄実行委員会)

オペラの神秘の一端と、感動を身近に感じてもらいたい、という安田侃さんの思いに多くの協力が集まり実現しました。

プッチーニの聖地トッレ・デル・ラーゴ(イタリア)で、安田侃さんが舞台美術を手がけ、大きな話題となったオペラ「蝶々夫人」。今回のコンサートは、2012年と2016年のプッチーニ・フェスティバル公演の主演ソプラノ歌手、ドナータ・ダヌンツィオ・ロンバルディさんを迎え、イザベッラ・クリサンテさんのピアノ伴奏で、歌劇「蝶々夫人」の中から「変わらぬ愛を」「ある晴れた日に」などが披露されました。ドナータさんの歌声は美しく切なく、時に力強く、多くの観客が胸を打たれて涙を浮かべていました。また、鮮やかな赤や白の着物のような衣装が、感情の揺らぎを表すように靡くのも印象的でした。札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさん率いる弦楽四重奏も加わり、総合芸術といわれるオペラの要素を凝縮したような圧巻のコンサートでした。



4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

4/22「クリーン会」開始
4/29「定時ガイドツアー」開始

春

5/14「てくてく美唄炭鉱-東美唄フットパス編-」



5/27 第9回「アルテ〇〇の学校」(古)(民)(家)

6/24「ころころキャンドル作り」
「ポポロミーティング」
第27回「アルテの森語り」



7/2 「ころころキャンドル作り」
7/29 第10回「アルテ〇〇の学校」(ア)(ス)(パ)(ラ)

夏

8/2～20「思い出の炭鉱写真展」

8/13「アルテの盆踊り」※雨天のため中止

8/23～10/6「安田侃ブロンズ展一時をつなぐ」

8/14「炭鉱映像館」

8/20「てくてく美唄炭鉱-三井美唄編-」

8/27「安田侃講演会一時をつなぐ」

9/2・3「ナイトミュージアム」

9/9・10「アルテでつくろう!きみも彫刻家」

9/21 まちづくり講習会「フレーム作り」(主催:美唄市社会福祉協議会)

9/23 第11回「アルテ〇〇の学校」(本)(屋)



10/7～16「安田侃のまなざし展」(主催:アルテピアッツァ美唄25周年記念事業実行委員会)

10/14・15「プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべinアルテピアッツァ美唄」

(主催:プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべinアルテピアッツァ美唄実行委員会)

10/22「秋のポポロウォーキング」

12/2～18「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 インスタグラムフォトコンテスト写真展」



12/23 第28回「アルテの森語り」

1/18 第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞

2/10～18「アーカイブ資料公開」

2/20 まちづくり講習会「カフェアルテ流おいしいコーヒーの淹れ方」(主催:美唄市社会福祉協議会)

冬

3/17～4/1「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄 インスタグラムフォトコンテスト写真展」

3/24・25「小学生のための『こころを彫る授業』」

アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



今年度も、自然と彫刻の調和がとれた空間を維持するため、園内の日常的なメンテナンスとして、春から秋にかけて作品清掃や伸び過ぎた枝の剪定などに努めました。また、譲っていただいたハイマツとヒバの木計12本をボランティアの方々と植樹しました。

「天翔の丘」の作品に日常的に付着していた泥汚れを回避するため、作品まわりに試験的に玉石を敷き、効果は得られましたが、景観を考慮し、7月に草へ戻すこととなりました。「水の広場」の流路・池の清掃は月

に2回、4月から11月の期間行いました。

カフェアルテの浄化槽内排水ポンプ2台のうち1台が停止したので、排水路を掘削して水流を確保しました。毎年11月初旬に、大理石彫刻と一部のブロンズ彫刻には保護カバーを掛けていますが、今年は新たな試みとして、寒冷から作品を守るため、一部の大理石作品に羊毛を被せました。

そして、1月には景観配慮のため、年数によって伸びきっていた「音の広場」と「ひとつがふたつ」に向かっての斜面の樹木の伐採

をしました。春先に長年皆様に愛され続けてポプラの木が原因不明で枯れてしまい、今後の安全を考え、止むを得ず3月に伐採処理をしました。

年が明けてからは、昨年に比べて積雪量が増え、雪の重さと経年劣化が重なり、3月中旬にウッドデッキの支柱が腐食、デッキごと崩れ落ちました。斜面に積もった雪のおかげもあり、彫刻作品は無事でした。

○来訪者やお客様との対応



来場者数は年間通して道内外、そして、海外から約 25,000人の方が訪れました。希望される団体には施設の概要説明をさせていただきアルテへの理解を深めていただけるように努めました。

夏にサイン看板を新調したことで、建物や彫刻の位置がわかりやすくなりました。また、アートスペース入口に案内表示を施したことによって入りやすくなったためか、見学者が増えました。

多くの方にお越しいただく一方で、他のお客様の鑑賞の妨げになる行為をされる方も少なからず目にします。夏秋の多客期の週末には「水の広場」にスタッフが常駐し、この場所がみんなの広場であることをご理解いただけるよう、お伝えしてきました。すべてのお客様ひとりひとりにとって、過ごしやすい場所であることを心がけております。

○コンサート・イベント・展覧会

アートスペース(旧体育館)は常時彫刻作品を設置した展示空間ですが、コンサートなどの貸館としてもご利用いただいています。今年度は23件のご利用があり、札幌や美唄市近郊のアーティストライブや、市内のピアノ教室発表会、合唱団のご利用など、人々の憩いの場となっています。

ギャラリー(木造校舎 2階)奥にある 2

つの教室は、絵画やイラスト、陶芸など、貸ギャラリーとしての創作活動の発表の場となっています。また、スタジオアルテ(体験工房)は「こころを彫る授業」の続きを彫る方にご利用いただいている他、講座や交流会の会場として年間通して活用されました。



アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○25周年



1992年のアルテピアッツァ美唄オープンから25周年を記念し、「安田侃ブロンズ展一時をつなぐ」を、8月から10月にかけて39日間にわたって開催しました。

常設の45点に加えて新たに10点のブロンズ彫刻を展示し、期間中5008人(平年同時期の約1.5倍)が来場し、関連行事(p4参照)の安田侃講演会「時をつなぐ」、ナイトミュージアム、子どものための美術鑑賞「アルテでつくろう!きみも彫刻家」にも多くのご参加を

いただきました。

また、図録としてアルテピアッツァの四季折々の作品写真を収録した作品集も制作しました。開催にあたっては、週末を中心に延べ38人のアルテ市民ポポロの皆さんがボランティアスタッフとしてご参加くださり、また、芸術文化振興基金の助成金、美唄市の共催負担金、美唄市内外の協賛金をいただきました。

○体験工房スタジオアルテの活用(「こころを彫る授業」「アルテ〇〇の学校」など)

2007年より毎月開催している、大理石等を素材に自分のこころのかたちを彫る「こころを彫る授業」も11年目に入りました。長年使用している道具のメンテナンスなどが課題となっていますが、より良い環境で彫刻できるよう改善に努めています。

年に1度の「小学生のための『こころを彫る授業』」も6回目を開催。小学生にとって道具が使い難いという声も多々あり、ハンマー

を小さくしたり、低い机を準備したりと工夫しました。

誰もが参加できる、小さな発見の場として、スタートした「アルテ〇〇の学校」は3年目を迎えました。今年度は、「古民家」「アスパラ」「本屋」の全3回を開催し、延べ80名の方が参加されました。お話のあとには交流会を設けており、ゲストと参加者が和気あいあいと話をする場面も多々ありました。



○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、いただいたご寄附により安田侃セレクトの書籍を充実させていく「アルテ文庫」ですが、2017年は新たに15冊の書籍を購入、全部で230冊の書籍が並んでいます。

染色家・柚木沙弥郎さんの絵本やダヴィデ像のお話など、児童書も増えています(絵本はカフェアルテでもご覧になれます)。他では見ることが出来ない国内外の貴重な書籍も多くあり、どなたでもじっくりご覧いただけます。

○教育普及活動

子どもから大人まで、アルテピアッツァ美唄に親しんでもらい、彫刻や美術の楽しさを感じてもらえたら、と来訪者と作品の架け橋となる教育普及。今年度は25周年の関連行事「アルテでつくろう!きみも彫刻家」を開催しました。開催に当たり、企画段階から当館の美術鑑賞コミュニケーターの方々にご協力いただきました。その他、「小学生のための『こころを彫る授業』」でも参加児童に向けて彫刻に触れてもらうプログラムを企画しました。毎週土曜日には、30分程度の「定時ガイドツアー」を実施しました。

○情報発信

Arte通信を年2回発行し、美術館の今を発信しました。また、アルテピアッツァ美唄25周年「安田侃ブロンズ展」の開催にあわせてポスター約1,000枚を全国の美術館に配布しました。その他、ホームページやブログ、SNSを用いて、安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄の日常やイベントのお知らせを伝える広報活動も積極的にしています。

今年度は、25周年事業があり、テレビやラジオ、新聞などでたびたび取り上げていただきました。

○アーカイブ活動

2月に行いましたアーカイブ資料公開では、「水の広場ができるまで」をテーマに、「水の広場」の計画画面や施工過程がわかる写真、新聞記事スクラップなどの資料を展示しました。今回の展示にあたり、改めて安田侃さんや当時の市役所職員の方に向けたお話の内容もアーカイブ資料として記録に残しました。なお、2017年4月には詩人・大岡信さんの訃報に接し、安田侃さんの彫刻やアルテピアッツァ美唄に寄せた詩の数々や、アルテピアッツァ美唄での講演会の記録などを展示しました。

○炭山(やま)の記憶

アルテピアッツァ美唄では炭鉱町で過ごした人の故郷として、その記憶や思いを次の世代につなぐため、炭鉱の歴史を伝える活動を行っています。

美唄に帰省される方の多いお盆の時期にギャラリーにて「思い出の炭鉱の写真展」を開催、当時の炭鉱地区の白地図を掲示し、思い出を地図に記入していただきました。「炭鉱映像館」では市内在住の金沢俊美さんのご協力で往時の貴重な映像を上映しました。また、毎年8月13日の「アルテの盆踊り」は残念ながら雨天のため中止となりました。この日に灯すために、ボランティアの方々にご協力いただき、市内の子どもたちやアルテ市民ポポロの皆様と作った「こころキャン

ドル」は、8月27日の「安田侃講演会」終演後に灯しました。その他、炭鉱で栄えた足跡を探す「てくてく美唄炭鉱」などを開催しました。



アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐ様々な活動しております。そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティの「アルテ市民ポポロ」です。個人または団体での来訪者には、専用のリーフレットをお渡しし、ガイドツアーなどの説明の機会をいただく際は、スタッフから直接、ポポロ参加へのご理解・ご協力のお話

をさせていただくなど、新規ポポロを増やすよう努めました。

また、ポポロの皆さんにアルテピアッツァ美唄のことをより深く知ってもらおうと、「ポポロだより」を年3回発行し、お届けいたしました。その他、市民証や安田侃さんからのメッセージ付きクリスマスカードはポポロの皆様にごお送りしております。



	アルテ市民 popolo	団体会員								
内容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。									
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在(いま)を知ることができます。 ●ポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。 ●「こころを彫る授業」を1000円割引(継続参加は200円割引)で受けられます。 ●「安田侃の『こころを彫る授業』」など、不定期開催の主催イベントのお知らせが届きます。 									
金額	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会費 <table border="0"> <tr> <td>ポポロ</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>コポポロ(中学生以下)</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>美唄ポポロ(美唄在住の方)</td> <td>500円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	ポポロ	3,000円	コポポロ(中学生以下)	500円	美唄ポポロ(美唄在住の方)	500円	<ul style="list-style-type: none"> ●団体会費 <table border="0"> <tr> <td>団体会員 一口</td> <td>30,000円</td> </tr> </table> <p>※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。</p>	団体会員 一口	30,000円
ポポロ	3,000円									
コポポロ(中学生以下)	500円									
美唄ポポロ(美唄在住の方)	500円									
団体会員 一口	30,000円									
●団体会員	<ul style="list-style-type: none"> 有限会社東オートセンター 株式会社カンディハウス 株式会社カンディハウス札幌 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 主治医のような社会保険労務士法人 空知商工信用組合 	<ul style="list-style-type: none"> 玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人はまなす 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 手打ちそば美唄匠の会 広瀬建設工業株式会社 								
		<ul style="list-style-type: none"> 北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック 山口物流株式会社 村松法律事務所 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社 <p>(2018年3月31日現在)</p>								

○書籍・グッズ

書籍・グッズなどの販売事業は、アルテを未来へ繋げる貴重な収入源となっています。

今年度は、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄25周年作品集」と「オリジナルクリアファイル(2種)」を制作、販売を開始しました。「お土産に」と、どちらも好調です。

また、毎年販売しているカレンダーですが、全面リニューアルし、サイズと価格を一新しました。小さなサイズで飾りやすく、価格も千円と手頃なため販売が好調だった一方、例年の大きなサイズ感を惜しむ声も寄せられました。

○カフェアルテの運営

カフェアルテでは、今年度もコーヒーやソフトクリームが人気だったほか、昨年度からの新メニュー「カフェラテ」も好評でした。ただ、年間の来店数が少なかったこともあり売上は伸びませんでした。2月には、新たな試みとして、展示に関連付けた特別メニュー(ガトーショコラ〜水の広場ver.)を考案し、期間限定で提供しました。

また、かねてから要望の多かった軽食メニューの試作に取り掛かり、2018年4月からイタリアのサンドイッチの提供を開始します。今後も、アルテピアッツァ美唄のなかのほっと一息つける場所として、居心地の良い空間作りを努めてまいります。



活動計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金額	
I. 経常収益		
1.受取会費		
ポポロ市民会費収益	1,434,000	
美唄ポポロ市民会費収益	60,000	
コポポロ市民会費収益	4,000	
会員会費収益	180,000	
団体会費収益	900,000	2,578,000
2.受取寄附金		
募金箱寄附	1,749,722	
寄附金	2,027,813	
アルテ文庫寄附	50,000	3,827,535
3.事業収益		
指定管理者事業収益	19,636,200	
25周年事業収益	3,839,300	
工房活用事業収益	801,230	
教育普及事業収益	19,459	
広報事業収益	94,350	
炭山の記憶事業収益	63,250	
喫茶事業収益	7,180,314	
販売事業収益	2,943,830	
連携事業収益	152,064	
アルテ市民popolo事業収益	5,400	34,735,397
4.その他収益		
受取利息	130	
雑収益	528,350	528,480
経常収益計		41,669,412
II. 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費	17,446,156	
(2)その他経費	20,136,646	
事業費計		37,582,802
2.管理費		
(1)人件費	290,241	
(2)その他経費	2,834,720	
管理費計		3,124,961
経常費用計		40,707,763
税引前当期経常増減額		961,649
法人税等		80,000
当期正味財産増減額		881,649
前期繰越正味財産額		10,212,610
次期繰越正味財産額		11,094,259

事業費・管理費 内訳

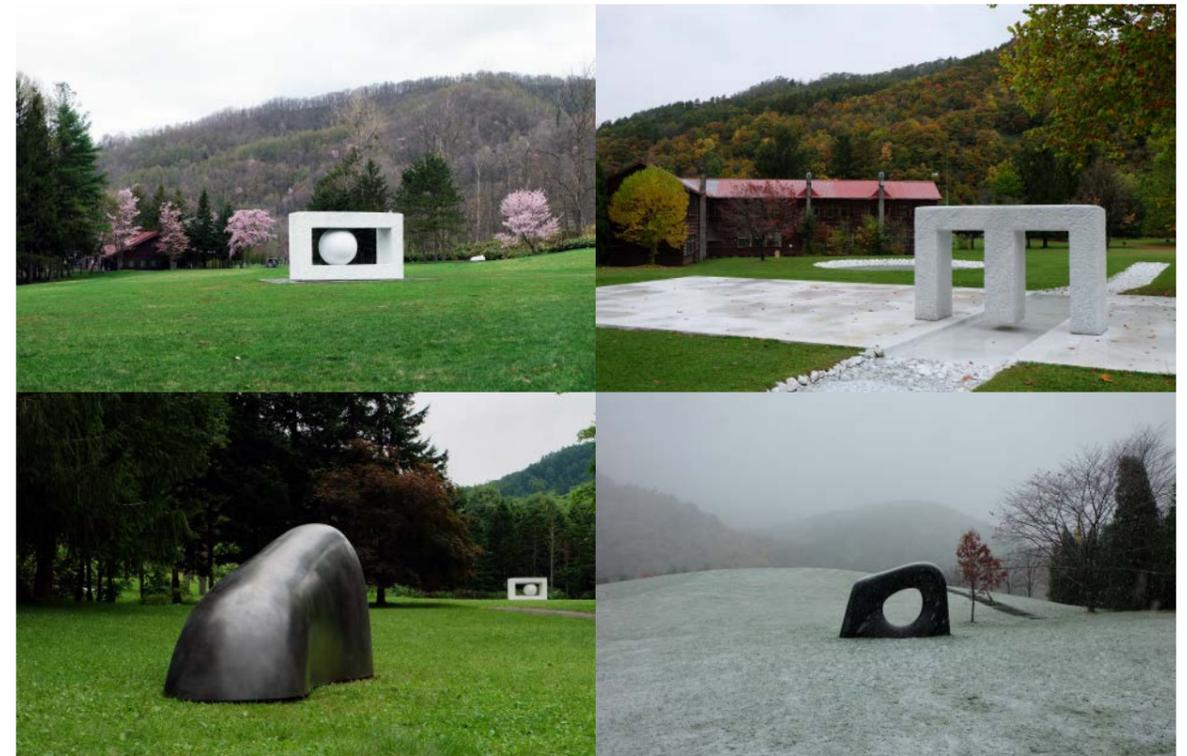
科目	指定管理	25周年	工房事業	アルテ文庫	教育普及	広報	アーカイブ	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1)人件費														
給与手当	9,816,524		671,959			447,977		481,156	4,085,427				218,327	15,721,370
福利厚生費	1,331,715		2,014			1,345		1,443	606,596				71,914	2,015,027
人件費計	11,148,239	0	673,973	0	0	449,322	0	482,599	4,692,023	0	0	0	290,241	17,736,397
(2)その他経費														
売上原価		1,195,560	46,308			2,916		67,981	2,043,049	804,888		4,007		4,164,709
業務委託費	3,169,795	1,049,220						12,000					1,819,799	6,050,814
諸謝金		199,685	33,410			15,000		44,548	22,273				30,000	344,916
印刷製本費	411,588	627,030	23,300			212,720		26,440		3,500		218,520	74,152	1,597,250
旅費交通費	13,780	181,460			3,640	22,200		4,040	9,700	6,580	42,670		89,420	373,490
通信費	228,815	78,368				118,039			132,641	57,511	862	384,295	178,377	1,178,908
消耗品費	468,404	10,649	6,976	864	2,046	51,848	18,240	37,800	178,444	39,912	12,467		168,660	996,310
修繕費	420,922													420,922
水道光熱費	4,856,310								222,683				76,406	5,155,399
地代家賃	137,500								120,000				177,500	435,000
賃借料		352,700												352,700
保険料	101,520	198,240	1,680				2,520	2,700				1,100		307,760
諸会費	3,000							17,800					31,000	51,800
研修費													24,840	24,840
慶弔費													12,900	12,900
租税公課	747,200	28,400	28,600			3,100		1,000	226,500	49,800	5,400		2,330	1,092,330
支払手数料													124,200	124,200
新聞図書費				23,072										23,072
広告宣伝費		97,845				37,747								135,592
会議費								700						700
雑費	5,724	1,890	108			432		108	10,608	33,698		45,510	25,136	127,754
その他経費計	10,564,558	4,540	142,164	24,044	5,686	464,002	18,240	197,137	2,986,398	995,889	61,399	653,432	2,834,720	22,971,366
費用計	21,712,797	4,023,697	816,137	24,044	5,686	913,324	18,240	679,736	7,678,421	995,889	61,399	653,432	3,124,961	40,707,763

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください

安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄
KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻美術館です。美術館には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。



■安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄のあゆみ

- 1991年 閉校した旧栄小学校の体育館を交流スペース、アートスペースに改修。
 - 1992年 7月、野外スペースを整備し、アルテピアッツァ美唄としてオープン。「真無」「吹雪」など5作品を野外に展示。11月、アートスペースで初めての演奏会を開催。
 - 1997年 「天聖」「天沫」や池、流路からなる「水の広場」を開設。
 - 1998年 旧栄小学校の校舎改修。
 - 1999年 旧栄小学校2階にギャラリーを開設。
 - 2001年 10月、北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞受賞。
 - 2002年 5月、安田侃さんが「第十五回村野藤吾賞」受賞。受賞対象作品が「アルテピアッツァ美唄」。
 - 2003年 7月、天皇皇后両陛下、アルテピアッツァ美唄を行幸啓。
 - 2006年 4月、指定管理者制度により、NPO法人アルテピアッツァびばいが管理運営を開始。
 - 2007年 4月、ストゥディオアルテ、カフェアルテがオープン。ストゥディオアルテでは、毎月、「こころを彫る授業」を開催。
 - 2010年 6月、音の広場に「真無」を設置。
 - 2012年 7月、アルテピアッツァ美唄20周年記念安田侃作品展「触れる」を開催。
 - 2016年 4月、登録博物館(美術館)となり、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」に改称
 - 2017年 8月、アルテピアッツァ美唄25周年「安田侃ブロンズ展一時をつなぐ」を開催
- 現在、野外・ギャラリー・カフェ・アートスペースに合わせて約40点の作品を展示している。